

# 地域人

vol. 20



地域を守り  
育む人たち

## 「命の尊さを伝えるために」

狩猟を通じて人生を考える塾 狩人塾 塾長  
孝凜株式会社 代表取締役 社長  
弥栄町獣肉加工処理施設 利用組合 代表  
ブッシュドクター

今田 孝志

(いまだ たかし)

浜田で33年間愛され続けたうどん屋「うどんの今田」を、3年前に閉めて弥栄に帰り、こちらにあった「陽気な狩人」で平成26年から再びうどんを提供することとなりました。私も年をとりましたから、田舎でゆったりと仕事しようと思っていたのですが、なかなかそうはいきませんでした。2年前に店を改装したところ、予想以上のたくさんのお客様が来られることとなりました。今でも、昔からのお客様が、わざわざ弥栄まで来てくださいます。

私は、25年位前から狩猟の世界に入り、猪猟をやっています。勉強はあまり得意ではなかったのですが、猟師になって犬を飼い共に生活し、そして山の中で猪を狩ることを通して、動物や自然が『人間の生きる道』と『命の奇跡と尊さ』を私に教えてくれていると気づき、勉強し続ける毎日です。全ての生まれる生命に無駄なものは一切なく、全て神に与えて頂いた命です。今日本では、その尊い命を年間3万人余りが自ら絶ってしまうという時代です。こういう時代だからこそ、子どもたちに命の尊さに気づいて欲しくて『命の授業』を始めることにしました。

先日も市内の中学生を対象に授業を行いました。その時の生徒さんが市の弁論大会で優勝し、県大会まで行くことができた聞き、大変うれしく思いました。『今まで何度、先生や大人に「命を大事にしなきゃダメ」と言わ

れても、正直何の説得力もありませんでした』と弁論文には書かれていました。その後、私が頂いた手紙には『命の授業』で学び、弁論を書くにつれ、より深く命について考えることができ、今生きている幸せと命に対する感謝の気持ち、私を大切に下さる人たちがたくさんいることに気づきました』と書かれていました。この弁論と手紙に、私はとても感動しました。一人でもこういった『命』に気づいてくれた子どもがいるということは、素晴らしいことです。『命の授業』を続けて良かったかと、心から思います。最近では、子どもだけでなく大人の方でも『命の授業』を受けたいという要望があり、公民館や医療施設などにも出向いて話をさせていただく機会も増えました。

私にはうどん屋ともう一つ「ブッシュドクター」という肩書があります。私は医者ではないですが、人間如何にすれば健康で生きられるかということ、店に来られるお客様に話しています。それは、ズバリ「陽気」に生きることです！常に明るく、清く・正しく・美しく！そういう気持ちで生きることがを薦めています。人生、お金がなくても、たとえ今が不幸だと感じていても、元気で働ける身体と精神力があれば、これからの世の中、素晴らしい人生がきっと待っています。皆さんも、神様に与えられた尊い命を、無駄なく有意義に、そして陽気にお過ごしくださいね。



店内の様子



ヤマナメクジの交尾



ストレスのない内臓